

計算書類に対する注記(社会福祉法人藤睦会)

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせる事象や状況は有りません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・満期保有目的の債券等

償却原価法(定額法)

・上記以外の有価証券で時価のあるもの

決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

・建物並びに器具及び備品 — 定額法

・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引にかかるリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

該当なし

・賞与引当金

サービス活動収益の10パーセント以上の場合、職員に対する賞与の支給に備えるため、翌年度の支給見込額のうち当該年度に帰属する額を計上している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

加入している退職共済制度は、次のとおりです。

・確定拠出型退職給付制度

独立行政法人医療福祉機構が主催する退職共済制度

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっています。

(1) 法人全体の計算書類(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 法人全体における事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人は社会福祉事業のみのため作成を省略している。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 本部拠点区分(社会福祉事業)

本部拠点区分ではサービス区分は設定していない。

イ ふじこども園拠点(社会福祉事業)

ふじこども園拠点区分ではサービス区分は設定していない。

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	49,620,000	0	0	49,620,000
建物	132,805,608	0	5,803,337	127,002,271
定期預金	0	0	0	0
合計	182,425,608	0	5,803,337	176,622,271

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりです。

土地(基本財産)	49,620,000 円
建物(基本財産)	127,002,271 円
土地(その他の固定資産)	0 円
建物(その他の固定資産)	0 円
計	176,622,271 円

担保にしている債務の種類および金額は以下のとおりです。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	31,377,000 円
計	31,377,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	175,740,628	48,738,357	127,002,271
建物	0	0	0
構築物	15,718,960	13,094,536	2,624,424
車両運搬具	1,218,000	1,217,998	2
器具及び備品	11,796,694	10,934,108	862,586
合計	204,474,282	73,984,999	130,489,283

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記(本部拠点区分用)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等
償却原価法(定額法)
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの
決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品 — 定額法
- ・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引にかかるリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金
該当なし
- ・賞与引当金
サービス活動収益の10パーセント以上の場合、職員に対する賞与の支給に備えるため、翌年度の支給見込額のうち当該年度に帰属する額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分の作成する計算書類は以下のとおりになっています。

(1) 本部拠点区分における拠点区分計算書

(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

当拠点区分にはサービス区分を設けていない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	0	0	0	0
建物	0	0	0	0
定期預金	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	0	0	0
建物	0	0	0
構築物	0	0	0
車両運搬具	0	0	0
器具及び備品	0	0	0
合計	0	0	0

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし
11. 重要な後発事象
該当なし
12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債
及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記(ふじこども園拠点区分用)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・満期保有目的の債券等

償却原価法(定額法)

・上記以外の有価証券で時価のあるもの

決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

・建物並びに器具及び備品 — 定額法

・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引にかかるリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

該当なし

・賞与引当金

サービス活動収益の10パーセント以上の場合、職員に対する賞与の支給に備えるため、

翌年度の支給見込額のうち当該年度に帰属する額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

加入している退職共済制度は、次のとおりです。

・確定拠出型退職給付制度 — 独立行政法人医療福祉機構が主催する退職共済制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分の作成する計算書類は以下のとおりになっています。

(1) ふじこども園拠点区分における拠点区分計算書

(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

当拠点区分にはサービス区分を設けていない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	49,620,000	0	0	49,620,000
建物	132,805,608	0	5,803,337	127,002,271
定期預金	0	0	0	0
合計	182,425,608	0	5,803,337	176,622,271

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりです。

土地(基本財産)	49,620,000 円
建物(基本財産)	127,002,271 円
土地(その他の固定資産)	0 円
建物(その他の固定資産)	0 円
計	176,622,271 円

担保にしている債務の種類および金額は以下のとおりです。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	31,377,000 円
計	31,377,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	175,740,628	48,738,357	127,002,271
建物	0	0	0
構築物	15,718,960	13,094,536	2,624,424
車両運搬具	1,218,000	1,217,998	2
器具及び備品	11,796,694	10,934,108	862,586
合計	204,474,282	73,984,999	130,489,283

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債

及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし